

## 第5学年「体育」の学力向上のための方策

### 児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果**
- 運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を身に付けることができる。
  - 自己やグループの運動の課題を見付けて、その解決のための方法（運動のコツや簡単な作戦）を工夫する様子が見られた。
- 課題**
- ▼ 運動技能の個人差が大きい。

### 指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 体を動かす心地よさを味わい、体の動きを高めると共に、心と体との関係に気付き、仲間と関わり合う。
- ◇ 運動に積極的に取り組み、仲間の考えや取り組みを認めたり、場や用具の安全に気を配ったりする。

### 具体的な改善策

#### 主体的に学習に取り組む態度のための工夫

- 友達と互いに見合ったり、教え合ったりすることで学び合いの場を設定する。
- 児童がルールや場の設定を工夫して、みんなが楽しい運動を自分たちで考える。

#### 言語活動の工夫

- 振り返りの時間を大切にすることで、自分の考えを整理して相手に伝えられるようにする。

#### ICT活用の工夫

- 一人1台端末を活用し、自分の運動している姿を客観的にみられるようにすることで、自分の課題解決ができるようにする。

#### 課題解決力育成の工夫

- 学習カードや作戦ボード、コツ共有カードなどを用いて、他者に考えを伝える機会を保障する。

### 達成目標

- その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。
- 運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。
- 運動に積極的に取り組み、自己の最善を尽くして運動をする態度を育てる。また、健康・安全の大切さに気付き、健康の保持増進に進んで取り組む態度を育てる。